

コンサートホールの臨場感を再現！ 新機能イヤピースの認知度アップに 向けた取り組み

LIZER LAB

プレスリリース作成による
広報戦略・マーケティング支援

企業概要

三瓶秀昭代表は、自動車メーカーの生産技術・検査・品質管理部門などに長年従事していたが、平成31年3月に退職し、令和元年5月に個人事業主として「LIZER LAB」を立ち上げた。

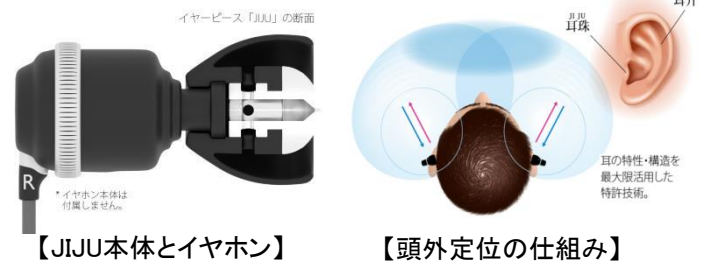
4年程前にある番組のイヤホン・ヘッドフォン特集で、爆発的に売れているイヤホンの紹介があり、試しにネットで購入したところ、「ノイズ感」と「頭内定位」を感じ、イヤホンに課題があることを認識し、それらを払拭した商品を開発・製造しようとしたことが独立のきっかけとなった。

開発した商品イヤピース「JIJU」は、カップ型でありフェーズプラグを装着することで、前方向からの歪のない音として聴取出来るよう世界で初めて製品化したものである。その結果「頭外定位」及び「圧倒的な臨場感」と奥行きのある空間表現により、生演奏のような視聴感が得られ、「コンサート会場のS席」のような音の世界が再現出来る。

11月に発売してわずか数日で大手通販サイトで完売になるなど、ロケットスタートに成功した。



【出荷・梱包作業の様子】



【JIJU本体とイヤホン】

【頭外定位の仕組み】

支援内容

INPIT知財総合支援窓口から持ち込まれた案件で、当初は顧客ターゲットの特定の支援を行ったが、本格的な支援は太田商工会議所主催のビジネスプレス発表会でのプレス用資料の作成から始まった。この資料においては、ともしば難しい技術用語の羅列になりがちなところを、平易な表現と分かりやすい図などで表現することに腐心した。

その後この資料を基にしてプレスリリースシートの作成指導を行い、新聞数社とネットニュースに載ることとなった。更に、オーディオ分野では日本で最高の権威の「VGP」において開発賞を受賞することが出来た。

今後は、一息ついた通販の売上を更に二段目のロケットに点火すべく、マーケティング全般での支援を行う予定である。

支援を受けた利用者の声

新機能イヤピースを製品化した後、いざ販売するとなるとそのノウハウはありませんでしたが、よろず支援拠点での具体的な支援を受けることで、より効果的な販売戦略の基礎を指導頂きました。メディアとの接点が増え複数の地元新聞社、並びにオーディオ専門誌の出版社からのネットニュースとして取り上げてもらう事で、販売へ直結することが出来ました。

継続的な売り上げになるよう今後もご支援を頂きたいと考えています。



代表
三瓶 秀昭 氏

企業データ

企業名：LIZER LAB

住所：群馬県太田市城西町65-2

E-mail：lizer-lab@mbr.nifty.com

従業員数：1名

代表者：代表 三瓶 秀昭

電話：050-3698-8139

URL：https://lizerlab.com

事業内容：イヤホンアフターパーツの製造



群馬県よろず支援拠点
公益財団法人群馬県産業支援機構